

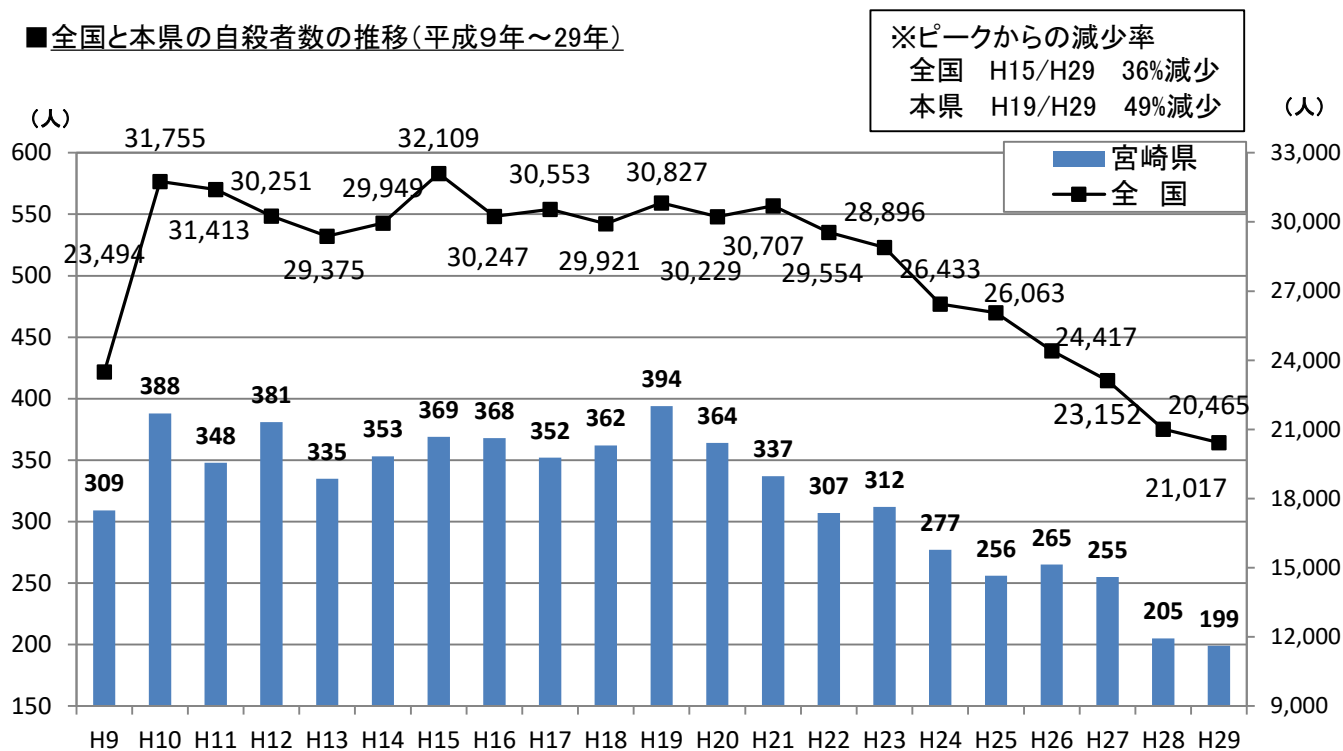
自殺の現状と課題について

資料1

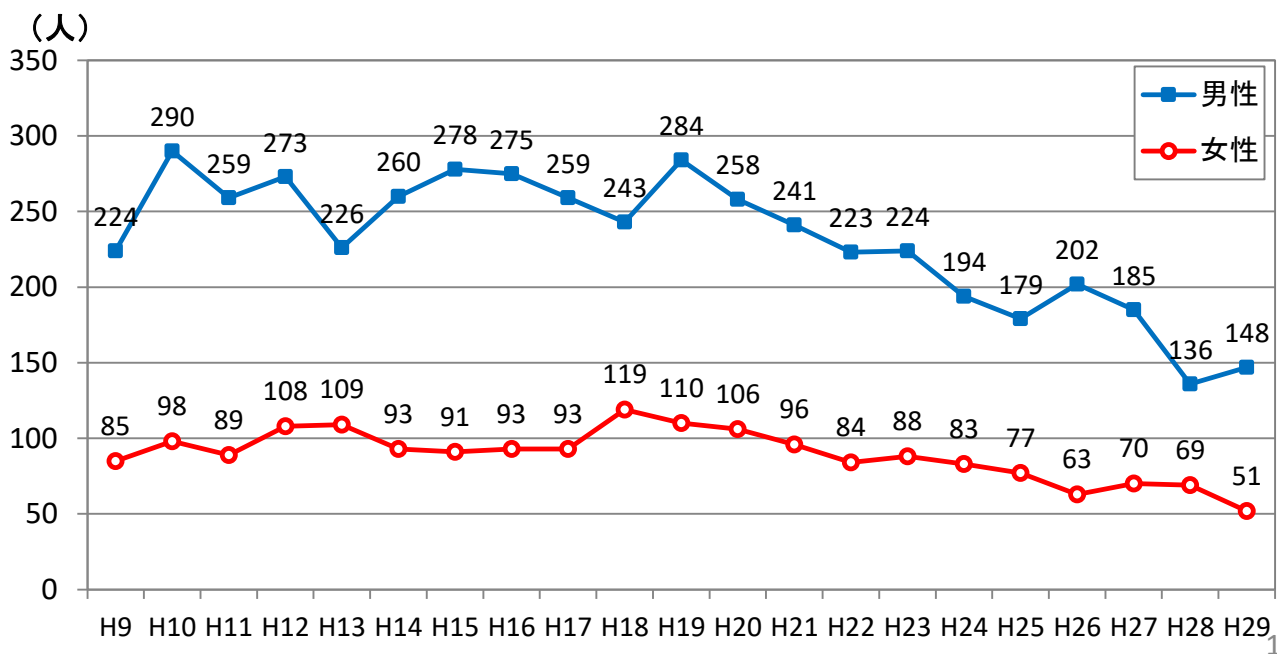
① 自殺者数について

- 本県の自殺者は、全国と同じく、ここ数年減少傾向にあり、平成29年は199人（前年比－6人）と、ピーク時の平成19年からほぼ半減している。
- 男性の自殺者数が3年ぶりに増加に転じたため、女性の約2.9倍（自殺者数に占める男女別割合：男性約74%、女性約26%）となっている。

■ 全国と本県の自殺者数の推移(平成9年～29年)



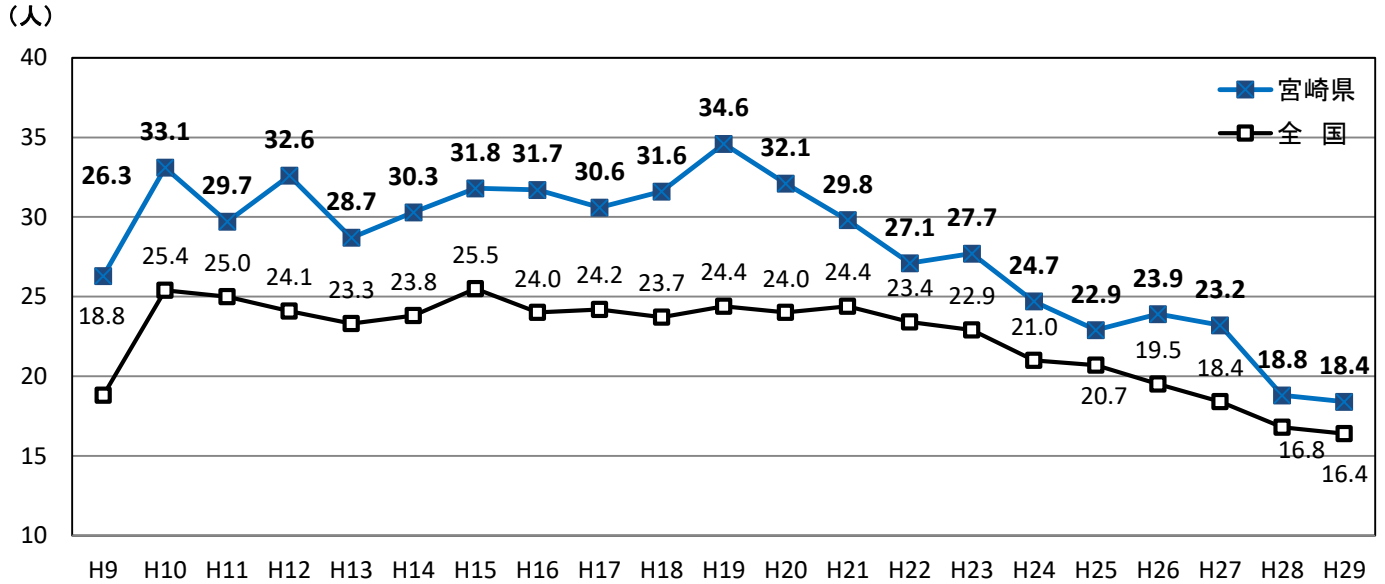
■ 本県の男女別自殺者数の推移(平成9～29年)



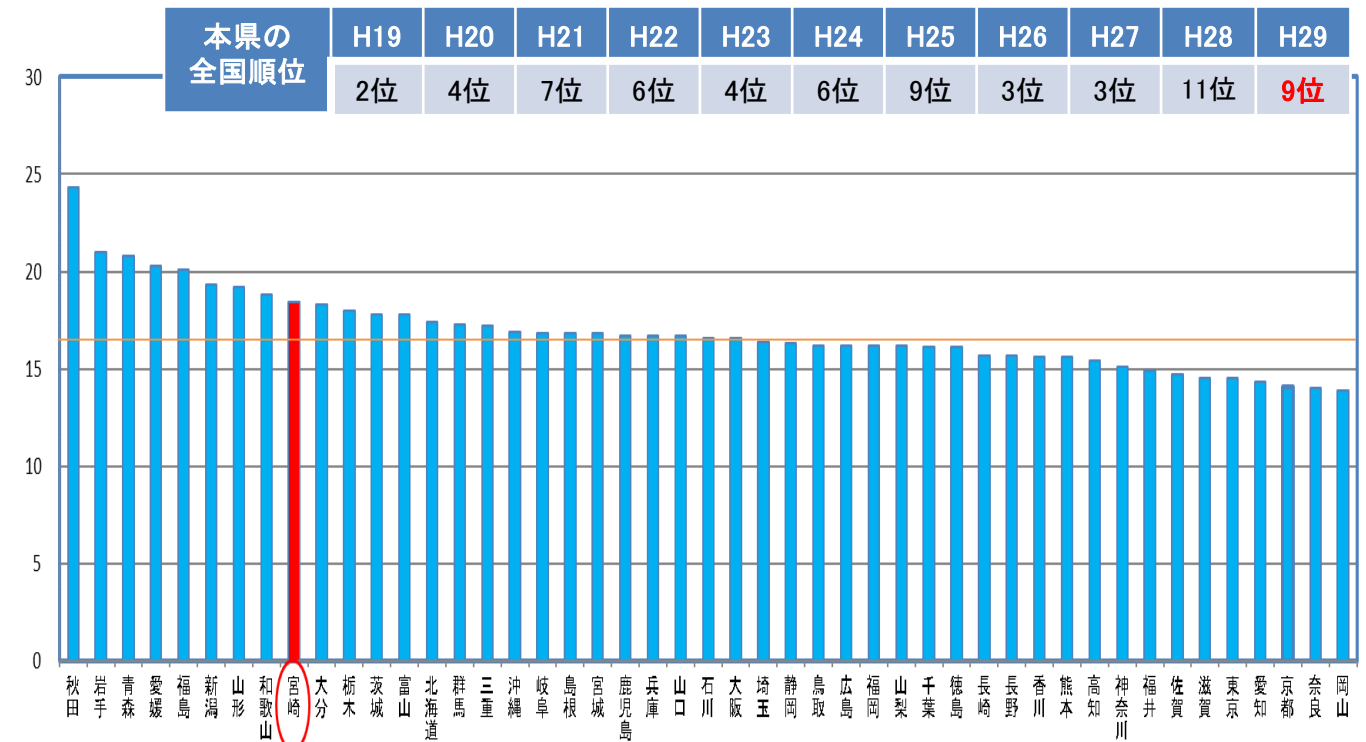
②自殺死亡率について

- 本県の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、全国平均を一貫して上回っており、平成29年は18.4人(前年比-0.4人)となっている。
- 都道府県別で比較すると、本県は全国で9番目(九州では1番目)に高くなっている。(H28年=11番目、H27年=3番目、ピーク時H19年=2番目)

■全国と本県の自殺死亡率の推移(平成9年~29年)



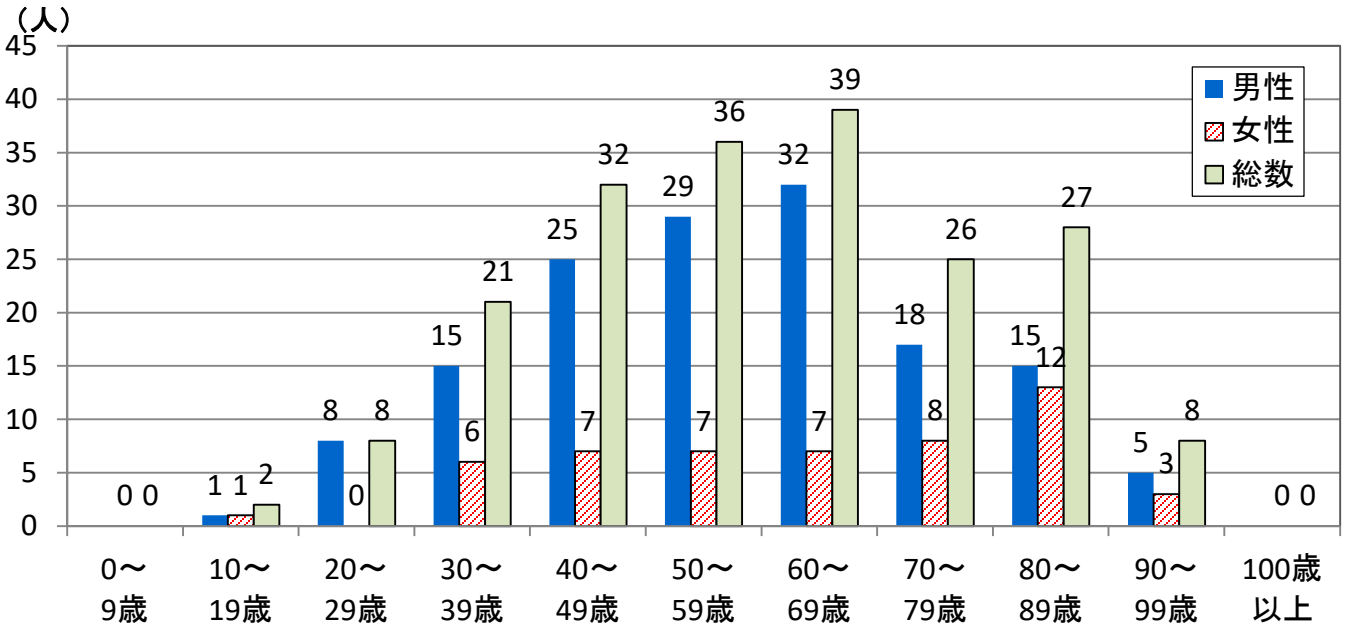
■都道府県別の自殺死亡率の比較(平成29年)



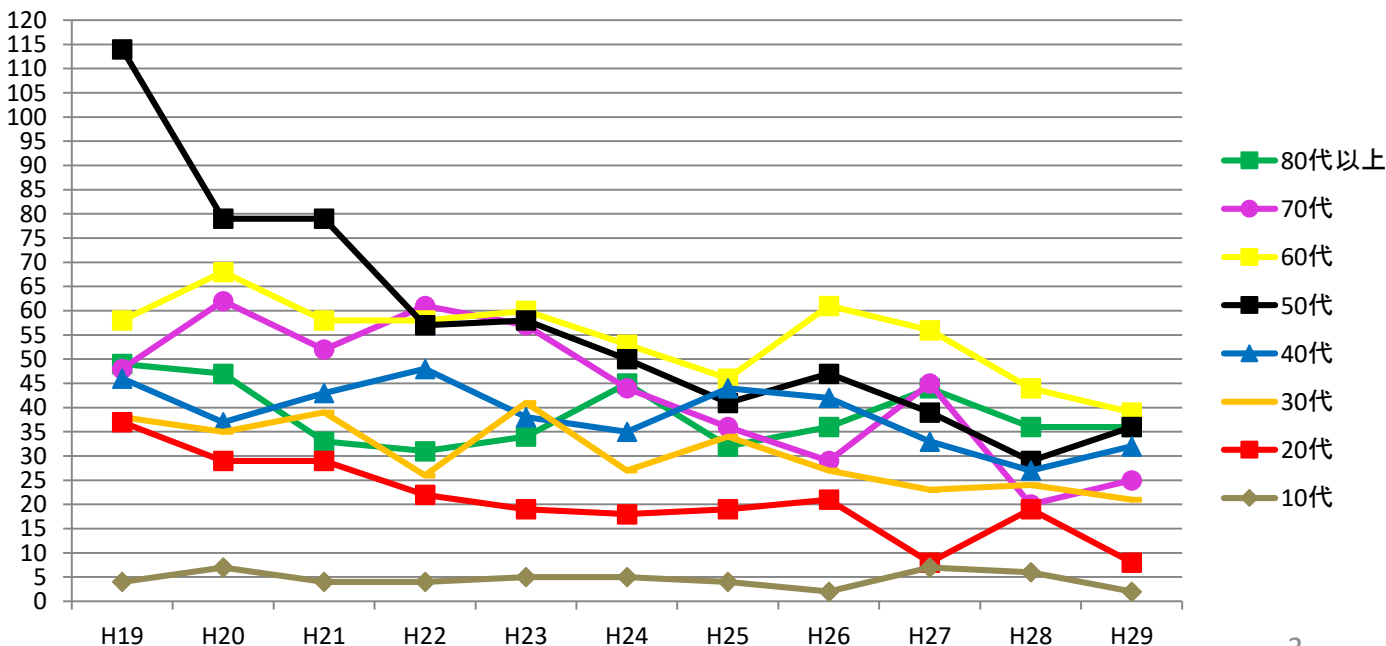
③年代別自殺者数について

- 年代別自殺者数は、「60代」が最も多く、次いで「50代」、「40代」の順となっている。
- 男女別に見ると、女性は、80代が最も多く、男性は、「60代」から「40代」の働き盛り世代が依然として多い。
- 平成19年以降の年代別自殺者数の推移を見ると、ここ数年減少傾向にあった「50代」、「40代」の働き盛り世代が増加している。
- 10代、20代の若年層については、平成28年に増加したものの、平成29年は一転して減少している。

■年代別・男女別自殺者数(平成29年)



■年代別自殺者数の推移(平成19～29年)



④年代別自殺死亡率について

- 平成19年以降の本県の年代別自殺死亡率の推移を見ると、どの世代も年ごとの増減はあるものの、減少傾向にある。
- 男女別で見ると、平成28年と比較して、50代、90代以上の男性の自殺死亡率の増加の幅が大きい。

■全体の年代別自殺死亡率の推移(平成19年～29年) ※H20. H21. H22分を省略

年齢階級	H19	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	対H19差	対H28差
10～19歳	3.3	4.4	4.5	3.6	1.8	6.6	5.8	1.9	-1.4	-3.9
20～29歳	33.9	19.2	18.9	20.5	23.2	9.1	22.7	9.8	-24.1	-12.9
30～39歳	27.9	30.3	20.3	26.1	21.3	18.6	20.1	18.1	-9.8	-2.0
40～49歳	33.9	29.4	26.9	33.6	31.7	24.8	19.9	23.5	-10.4	+3.6
50～59歳	62.7	36.6	32.7	27.5	32.4	27.5	21.5	27.1	-35.6	+5.6
60～69歳	41.3	36.7	31.8	27.1	35.5	32.0	24.6	22.3	-19.0	-2.3
70～79歳	36.6	43.9	33.9	28.1	22.7	36.0	16.5	20.0	-16.6	+3.5
80～89歳	55.6	39.0	42.7	31.8	33.4	39.4	33.4	30.7	-24.9	-2.7
90歳～	83.8	17.4	54.1	25.8	34.3	41.5	26.8	33.5	-50.3	-6.7
全体値	34.6	27.7	24.7	22.9	23.9	23.4	18.8	18.4	-18.4	-0.4

■男性の年代別自殺死亡率の推移(平成19～29年) ※H20. H21. H22分を省略

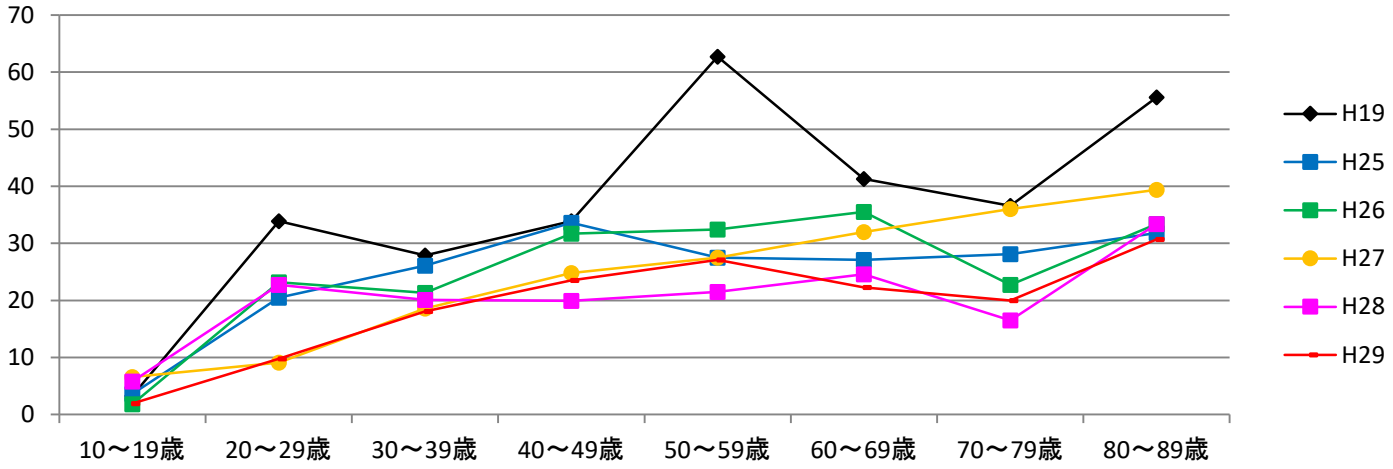
年齢階級	H19	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	対H19差	対H28差
10～19歳	3.2	8.6	5.2	5.3	3.6	11.1	5.7	1.9	-1.3	-3.8
20～29歳	47.3	31.6	19.6	33.3	40.7	9.2	31.5	19.8	-27.5	-11.7
30～39歳	36.5	48.3	27.6	40.8	37.1	34.8	31.0	26.6	-9.9	-4.4
40～49歳	58.7	50.2	46.7	50.9	54.9	43.6	28.9	37.9	-20.8	+9
50～59歳	97.9	59.8	56.8	43.2	48.7	38.2	27.9	45.9	-52	+18
60～69歳	71.5	58.9	51.1	44.0	58.0	48.7	34.8	38.0	-33.5	+3.2
70～79歳	58.1	61.9	47.8	42.9	35.7	58.2	26.0	30.4	-27.7	+4.4
80～89歳	89.2	46.6	64.9	39.2	56.8	64.0	53.8	43.9	-45.3	-9.9
90歳～	252.0	27.1	153.4	0.0	91.3	132.9	60.1	91.0	-161	+30.9
全体値	52.9	42.2	36.7	34.0	38.6	35.6	26.4	28.7	-50.7	+2.3

■女性の年代別自殺死亡率の推移(平成19年～29年) ※H20. H21. H22分を省略

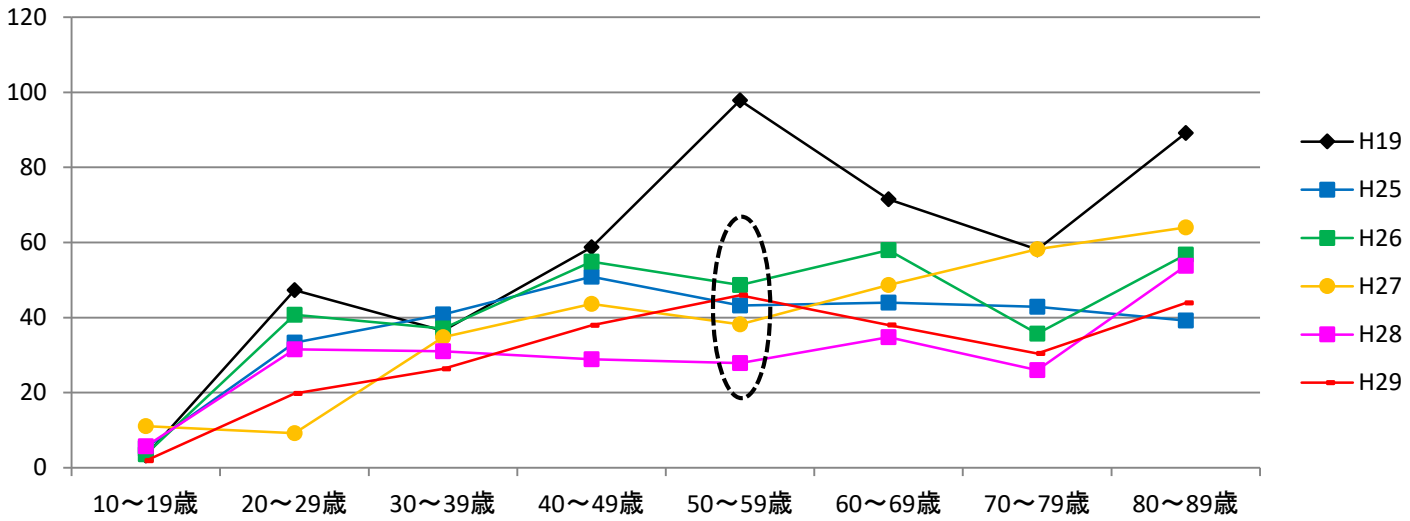
年齢階級	H19	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	対H19差	対H28差
10～19歳	3.4	0.0	3.6	1.9	0.0	1.9	5.9	2.0	-1.4	-3.9
20～29歳	21.4	7.8	18.3	8.4	6.5	9.0	14.2	0.0	-21.4	-14.2
30～39歳	19.9	13.0	13.2	12.0	6.1	3.1	9.8	10.0	-9.9	+0.2
40～49歳	11.3	10.4	8.8	17.6	10.2	7.2	11.4	10.0	-1.3	-1.4
50～59歳	29.1	14.7	10.1	13.0	17.3	17.6	15.6	10.1	-19.0	-5.5
60～69歳	14.7	16.4	13.9	11.4	14.6	16.5	15.1	7.7	-7.0	-7.4
70～79歳	20.2	30.1	23.2	16.7	12.5	18.6	8.9	11.6	-8.6	+4.4
80～89歳	38.5	34.9	30.3	27.6	19.9	25.0	21.3	22.8	-15.7	+1.5
90歳～	35.9	14.7	27.5	32.7	18.7	17.6	17.2	16.3	-19.6	-0.9
全体	18.2	14.7	13.9	13.0	10.7	11.9	11.9	9.0	-9.2	-2.9

【参考】④年代別自殺死亡率について(グラフ)

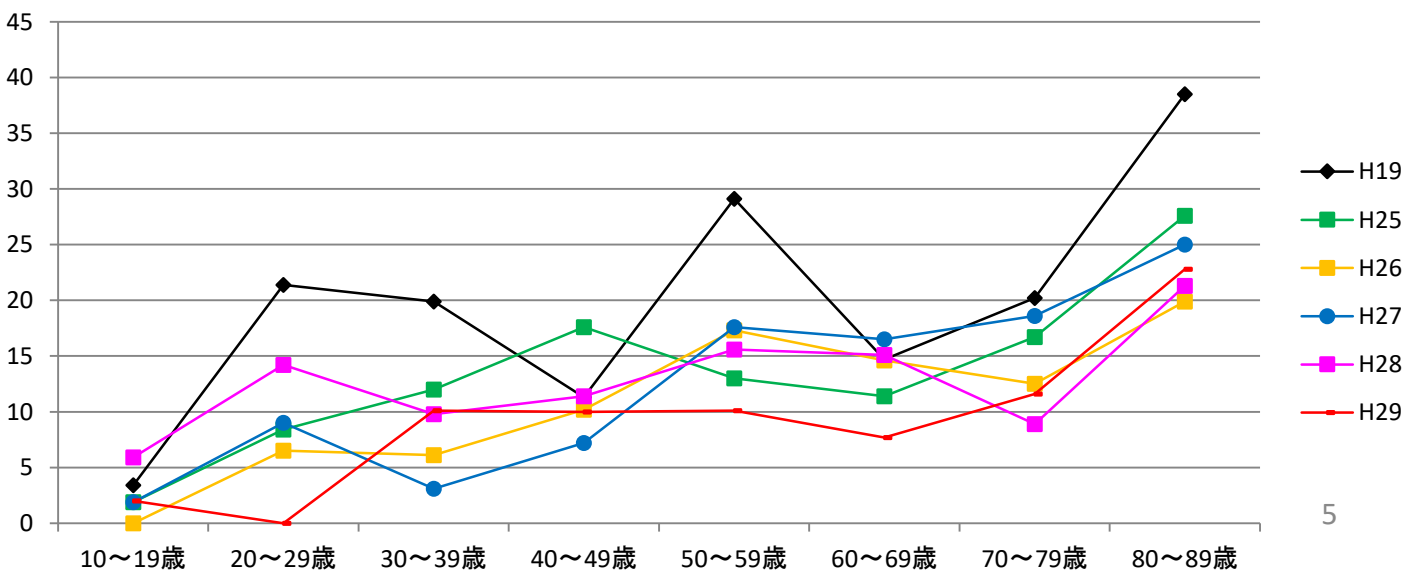
■年代別自殺死亡率の推移(平成19年～29年)



■男性の年代別自殺死亡率の推移(平成19～29年)



■女性の年代別自殺死亡率の推移(平成19年～28年) ※H19、H24、H27、H28分を計上



⑤年代別死因順位について

- 本県の平成29年の年代別死因順位を見ると、若年層や若い働き盛り世代の年齢で自殺が死因の上位を占めている。
- なお、全体での死因順位を見ると、自殺は9位となっている。(1位:悪性新生物、2位:心疾患、3位:脳血管疾患)

■年代別主要死因別順位(平成29年)

年齢階級	1位	2位	3位
10代	悪性新生物	自殺	不慮の事故
20代	自殺	悪性新生物	不慮の事故
30代	自殺	悪性新生物	不慮の事故
40代	悪性新生物	自殺	心疾患
50代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
60代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
70代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
80代以上	悪性新生物	心疾患	肺炎

■全体の主要死因別順位(平成29年)

【本県】

順位	死因
1位	悪性新生物
2位	心疾患
3位	脳血管疾患
4位	肺炎
5位	老衰
6位	不慮の事故
7位	腎不全
8位	慢性閉塞性肺疾患
9位	自殺
10位	大動脈瘤及び解離

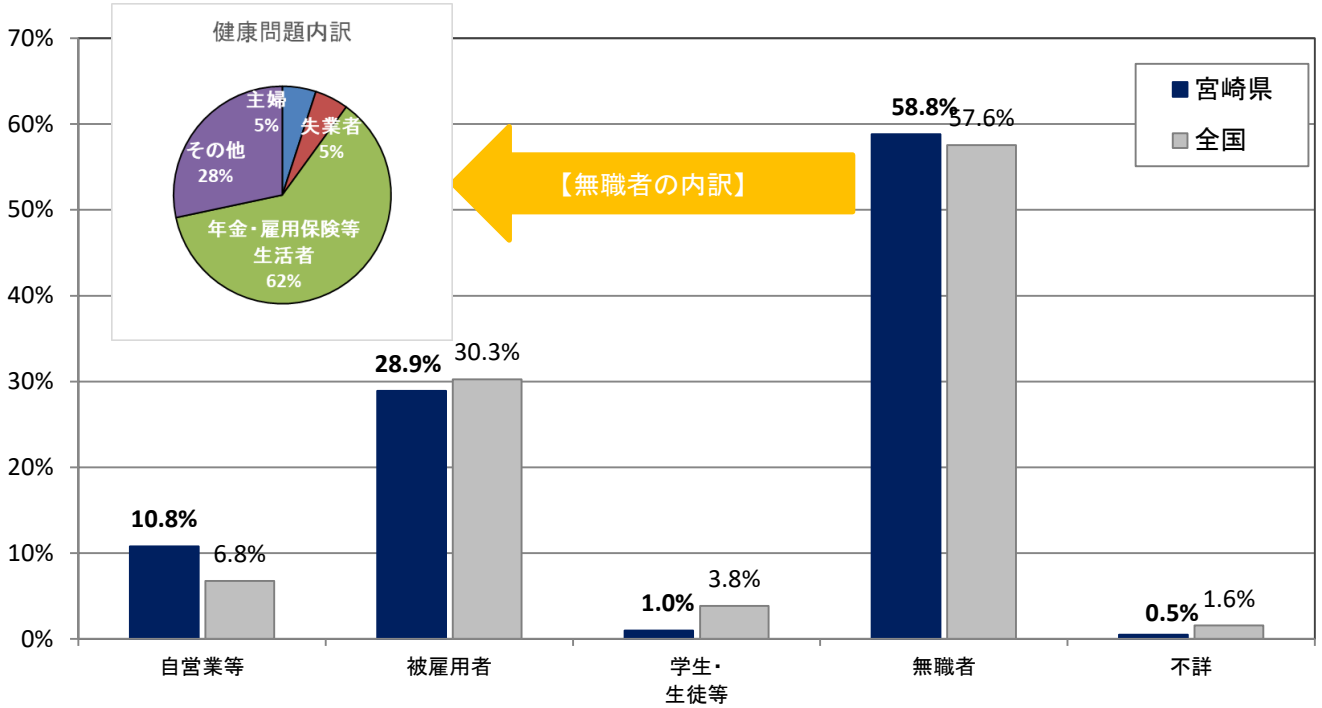
【全国】

順位	死因
1位	悪性新生物
2位	心疾患
3位	脳血管疾患
4位	老衰
5位	肺炎
6位	不慮の事故
7位	腎不全
8位	自殺
9位	大動脈瘤及び解離
10位	慢性閉塞性肺疾患

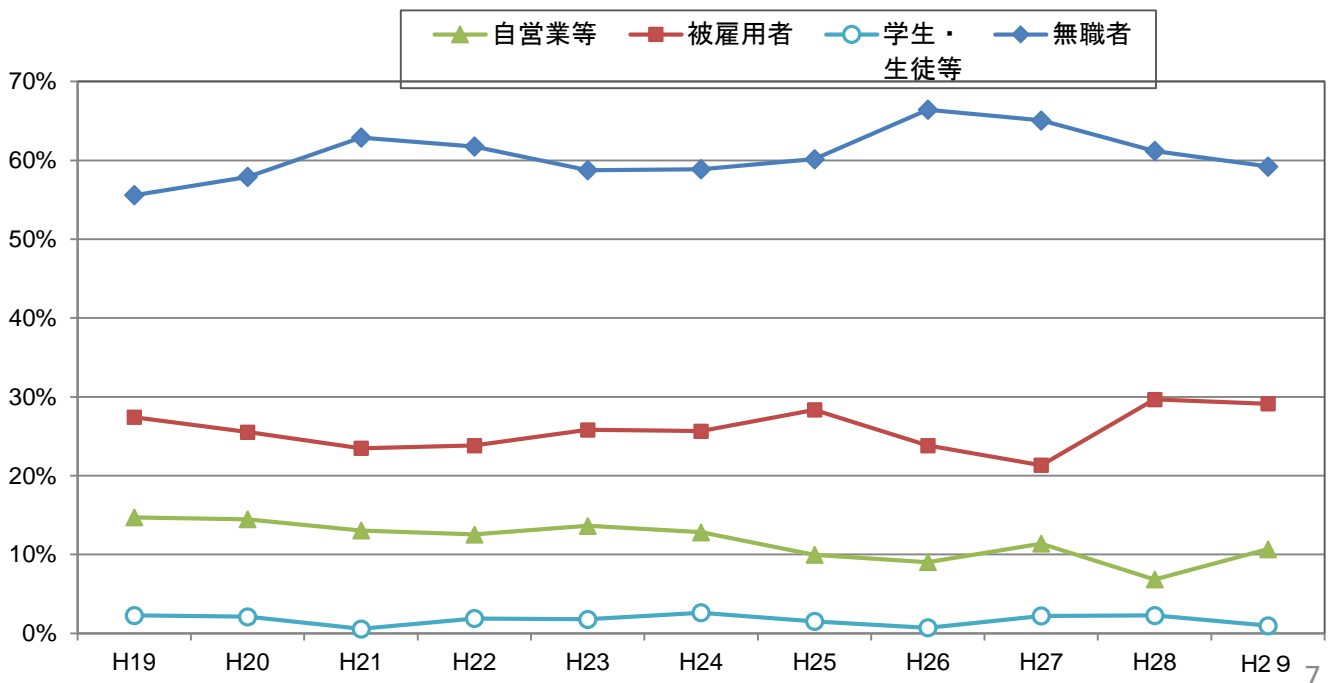
⑥職業別自殺者数について

- 本県の職業別自殺者数の割合は、「無職者」が最も高く、次に「被雇用者」、「自営業等」の順となっている。

■全国と本県の職業別自殺者数の割合(平成29年)



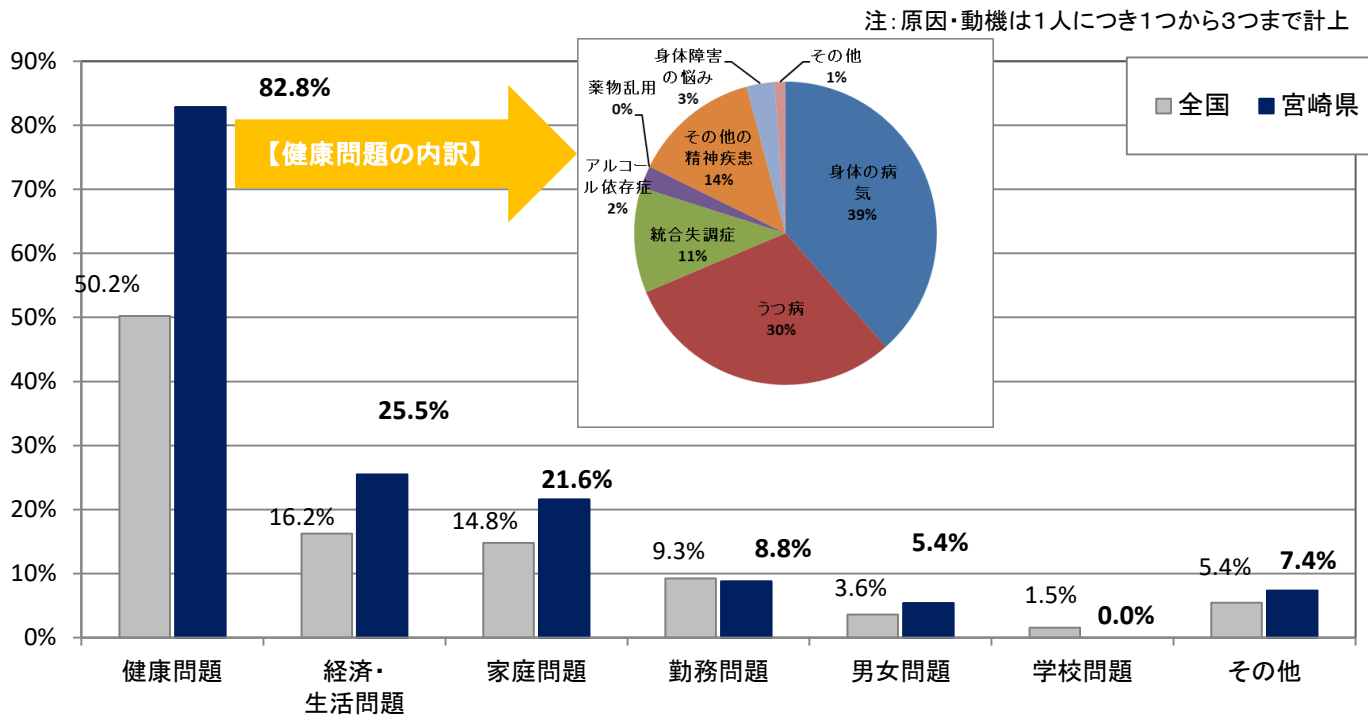
■本県の職業別自殺者数の割合の推移(平成19年～29年)



⑦原因・動機別自殺者数について

- 本県の原因・動機別自殺者数の割合は、「健康問題」が圧倒的に高く、その内訳を見ると、「うつ病」をはじめとする精神疾患が全体の半分以上を占めている。
- 年代別の原因・動機別順位を見てみると、「30代」～「60代」においては、健康問題以外では、経済・生活問題の割合が高い。

■全国と本県の原因・動機別自殺者数の割合(平成29年)



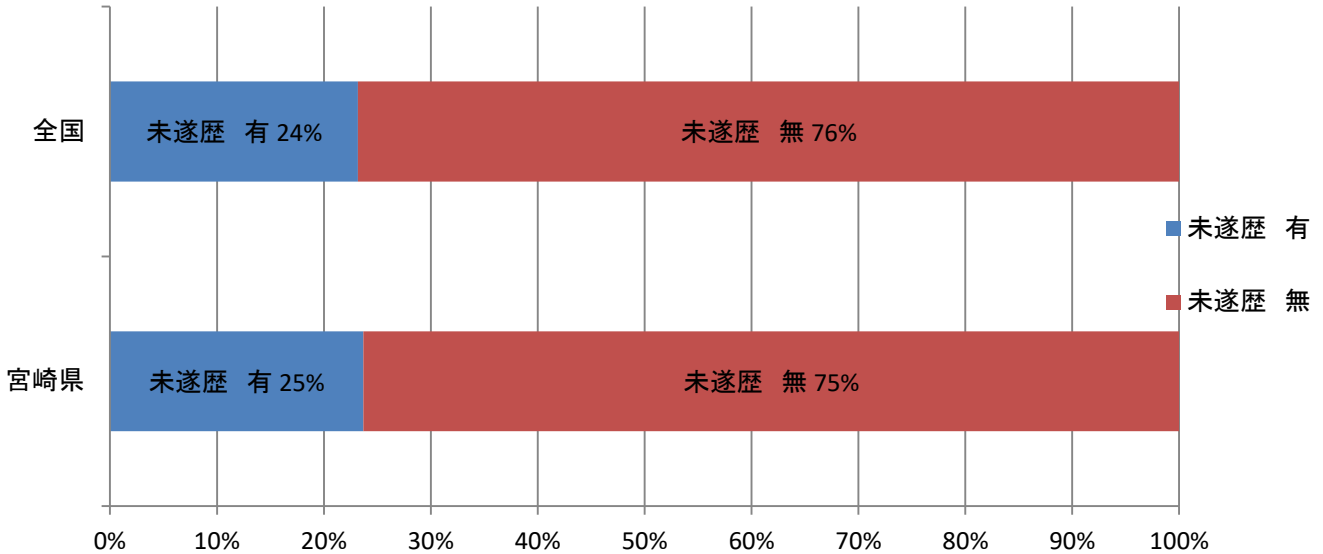
■年代別の原因・動機別順位(平成29年)

年齢	1位	2位	3位	4位	5位
10代	健康問題(100%)	—	—	—	—
20代	健康問題(50.0%)	男女問題(20.0%)	勤務問題(10.0%)、その他(10.0%)、家庭問題(10.0%)		
30代	経済・生活問題(27.8%)	健康問題(25.0%)	勤務問題(16.7%)	男女問題(13.9%)	家庭問題(11.1%)
40代	健康問題(52.0%)	経済・生活問題(20.0%)	家庭問題(16.0%)	勤務問題(4.0%)	男女問題(2.0%)
50代	健康問題(41.9%)	経済・生活問題(25.8%)	家庭問題(14.5%)	勤務問題(12.9%)	男女問題(3.2%)
60代	健康問題(58.1%)	経済・生活問題(24.2%)	家庭問題(11.3%)	その他(4.8%)	勤務問題(1.6%)
70代	健康問題(72.5%)	家庭問題(15.0%)	男女問題(2.5%) 経済・生活問題(2.5%)		その他(7.5%)
80代以上	健康問題(76.6%)	家庭問題(19.1%)	その他(4.3%)	—	—

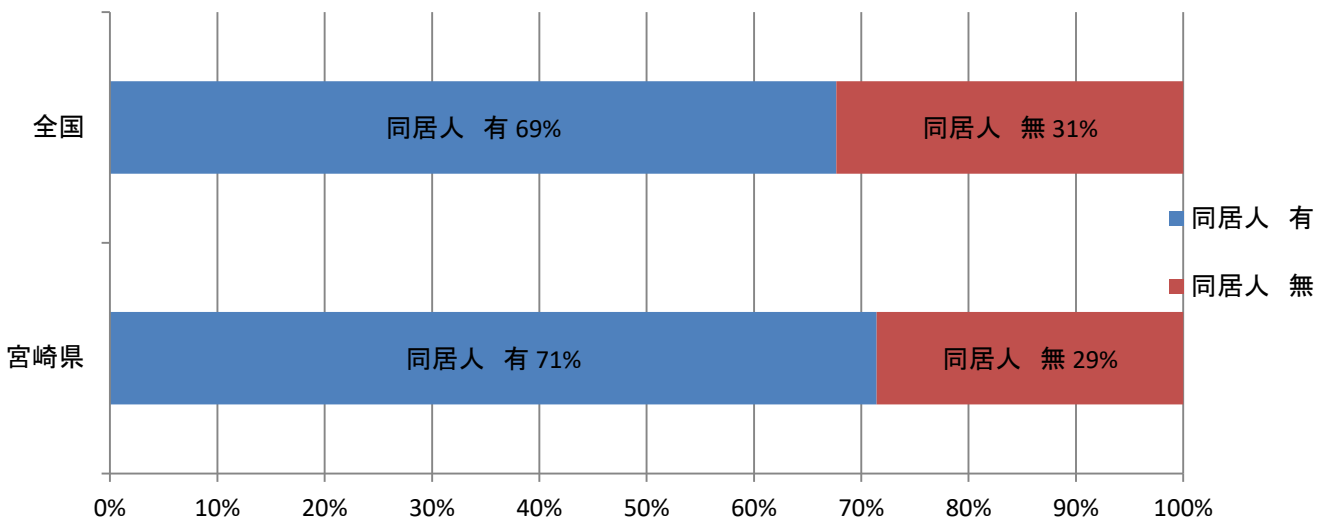
⑧ 自殺未遂歴の有無等について

- 本県の自殺者の過去の自殺未遂歴の有無を見ると、「未遂歴有」が25%、「未遂歴無」が75%となっており、4人に1人が過去に未遂歴を有している。
- また、自殺者の同居人の有無を見ると、「同居人有」が71%、「同居人無」が29%となっている。

■ 全国と本県の自殺者の自殺未遂歴の有無(平成29年)

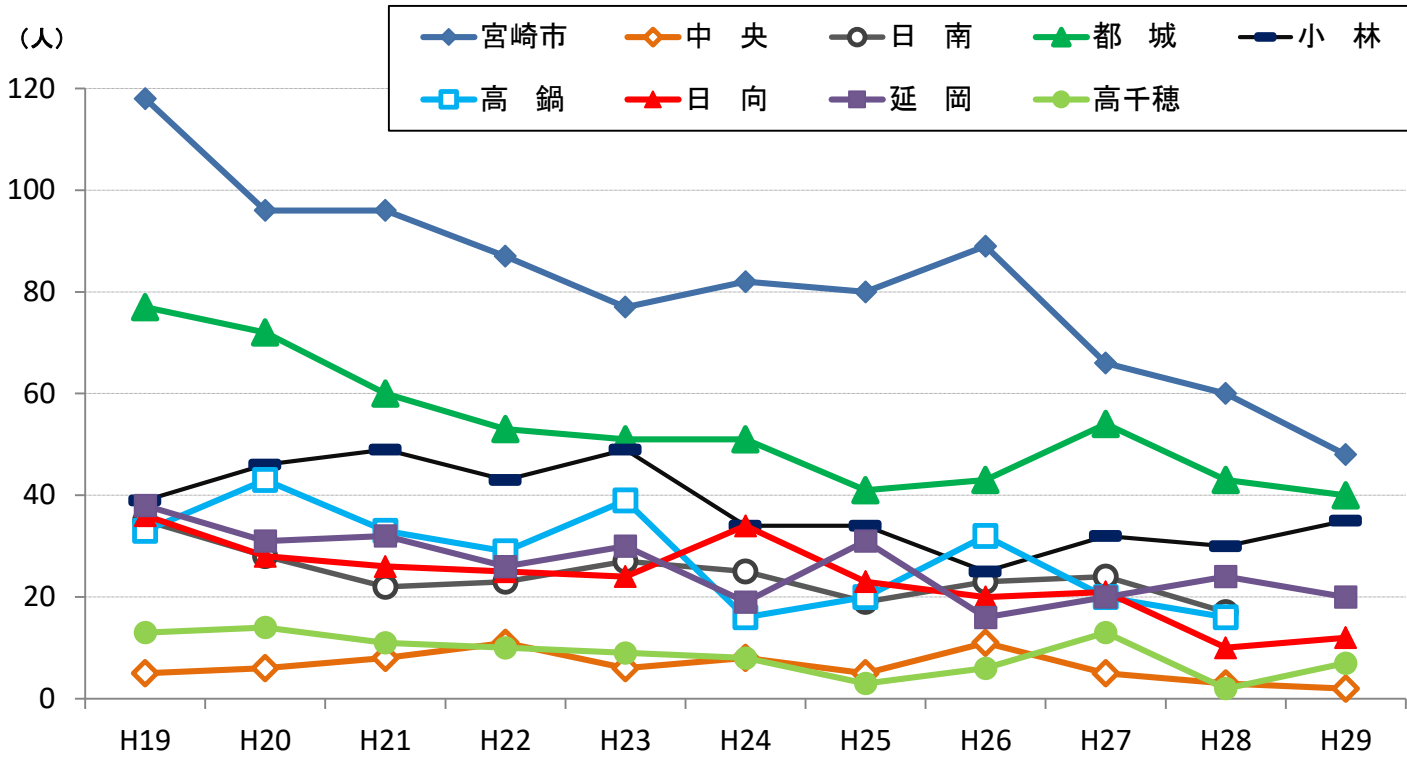


■ 全国と本県の自殺者の同居人の有無(平成29年)



⑨各保健所圏域別の動向について

■各保健所圏域別の自殺者数の推移(平成19年～28年)



■各保健所圏域別の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)の推移(平成19年～28年)

